

日本気象学会 沖縄支部だより

発行:(公社)日本気象学会沖縄支部
〒900-8517 沖縄県那覇市おもろまち 2-1-1
那覇第2地方合同庁舎3号館
沖縄気象台地域防災推進課内

2025 年度日本気象学会沖縄支部研究発表会

令和 8 年 2 月 27 日 (金)、2025 年度日本気象学会沖縄支部研究発表会を開催しましたので概要を報告します。なお、昨年度に引き続き、沖縄気象台における対面形式の発表に加えオンラインも併用した開催となりました。

1 支部長あいさつ(概要)

本日は、年に一度の支部研究発表会に17題もの多くの発表をエントリーいただき、誠にありがとうございます。発表内容は沖縄地方に限らず、南極など広範な地域にわたる話題もあると伺っております。私自身、非常に興味深い内容が多数あり、大変関心を持って聞かさせていただきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2 発表

研究発表会(座長:新垣理事(午前・午後後半)、シェリフ理事(午後前半))では、17題(琉球大学13題、沖縄気象台4題)と多くの発表に対して活発な質疑があり、貴重な意見交換の場となりました。

琉球大学からは、降水現象に関連して、2024年11月に沖縄本島北部で発生した線状降水帯による記録的な大雨の事例調査をはじめ、カタブイ発生環境の検討、雷放電と降水の関係調査、さらに地上マイクロ波放射とラジオゾンデを用いた対流性降水発生時の環境場の解析など、多岐にわたる発表がありました。この他、沖縄における梅雨明けの定義の考察や、2025年に沖縄に接近した台風の特徴に関する調査など、地域の気象特性に深く関わる研究発表もありました。

気候変動に関連しては、2040年以降の温暖化対策が全球気候に与える影響、南極氷床に関する数

値実験、太平洋10年規模変動といった、大規模・長期的視点からの研究発表がありました。海洋分野では、ラニーニャ期における日本海の海面高度偏差の調査、海底地形による流れの変化に関する数値実験、カツオと海面水温の関係に関する発表がありました。

気象台からは、数値予報アンサンブル GPV を用いた沖縄地方への台風影響のリスク調査や CNN を用いた GSM の台風補正モデル開発、南大東島における放射冷却に関する調査の発表がありました。また、琉球大学からも発表のあった2024年11月の沖縄本島北部の大雨事例調査の発表もあり、互いの知見や技術を共有する貴重な場となりました。



発表題目 (所属 : 発表者)

- ① 2024年11月8日から10日の沖縄本島地方における大雨事例調査 (沖縄気象台:玉那覇 司)
- ② 畳み込みニューラルネットワークによるGSMの台風補正モデルの開発(その2)
(沖縄気象台:平仲 裕一)
- ③ 数値予報アンサンブルGPVを用いた沖縄地方の台風等影響リスクの予測可能性
(沖縄気象台:伊志嶺 壮人)
- ④ 梅雨明けの定義の再考(その2) —沈降逆転層の形成に伴う雲の形態変化—
(琉球大学大学院理工学研究科:渡邊 朱里)
- ⑤ 地上マイクロ波放射計とラジオゾンデを用いた沖縄における対流性降水の発生環境場の観測
(琉球大学理学部:寺田 サキ)
- ⑥ 2024年11月8日から10日にかけて発生した沖縄本島北部豪雨の事例解析
(琉球大学理学部:渡邊 雄斗)
- ⑦ 南大東島における放射冷却に伴う最低気温の発現特性 (南大東島地方気象台:福井 佑汰)
- ⑧ 事例解析と風配図・コンポジット解析に基づく名護周辺のカタバイ発生環境の検討
(琉球大学理学部:玉元 琴乃)
- ⑨ 沖縄県における雷放電発生の特徴と降水との関係 (琉球大学理学部:一島 歩未)
- ⑩ 2025年夏季における沖縄接近台風の活動特性とその背景要因 (琉球大学理学部:鈴木 開也)
- ⑪ 日本海における海面高度偏差の時間変動量の時空間分布—2021-2023年ラニーニャ期間の解析—
(琉球大学理学部:白石 あみ)
- ⑫ 海底地形による流れの変化に関する数値実験 (琉球大学理学部:川上 麻奈)
- ⑬ Spatiotemporal Deterministic Clustering Analysis of Skipjack Tuna Correlation with Sea Surface Temperature in the Southwestern Pacific
～南西太平洋におけるカツオの海面水温との相関に関する時空間決定論的クラスタリング解析～
(琉球大学大学院理工学研究科:Martin Iniga)
- ⑭ 2040年からの温暖化対策が全球と沖縄の気候に与える影響:マルチモデル解析
(琉球大学理学部:渡慶次 孔希)
- ⑮ 南極氷床数値実験:海洋による融解に対する氷床応答 (琉球大学理学部:又吉 秀真)
- ⑯ 南極氷床の融解が全球の気候に与える影響 (琉球大学理学部:譜久里 晃矢)
- ⑰ 時代による太平洋10年規模変動の違い:最新の気候モデルデータ解析 (琉球大学理学部:鈴木 一成)

※予稿集は沖縄支部ホームページの「お知らせ」に掲載しています。<http://www.msjok.com/wiki/>

3 閉会の挨拶(概要)久木理事

本日は10時から16時半までの長時間にわたる発表、大変お疲れ様でした。この発表会は、気象庁職員の皆さまと琉球大学の学生による研究発表が中心となっていますが、特に学生の皆さまにとっては、学内とは異なる環境で、気象の第一線で働いている方々に向けて発表し、意見や質問をいた

だけの非常に貴重な機会になったことと思います。多くの方々は卒業して新しい進路、あるいは大学院に進むこととなりますが、こうした経験を今後の糧として活かしていただければと願っております。本日は誠にお疲れ様でした。

(参加者28名・オンライン参加8名)

第8回気象サイエンスカフェ沖縄

令和7年12月7日(日)、県立宮古高等学校の協賛を得て、日本気象予報士会沖縄支部と沖縄気象台の共催による「第8回気象サイエンスカフェ沖縄」を家庭科総合実習室で開催しました。



宮古高等学校の先生に協力頂いて作成したポスター

対象は高校生と教員で、テーマは「将来の台風はどうなるの? ~気候変動時代を生き抜くには~」。本庁気候情報課の前田予報官に「気候変動に気象・気候情報で適応する」、森田気象キャスターに「気象情報で気象災害を食い止める」を講演いただきました。フリートークでは崎濱気象キャスターに進行いただきました。高校生9名、教員7名の参加のほか、市職員や新聞記者にも聴講いただき、会場は満席となりました。



フリートークの様子: 左から、前田予報官、森田・崎濱気象予報士、沖縄支部理事 萱場(司会・筆者)

前田予報官は、猛暑や大雨の頻度増加、将来の台風強度の上昇を説明し、社会全体での適応と気象情報活用の重要性を強調しました。森田キャス

ターは浮世絵の積乱雲を例に、雲を知ることが災害回避の第一歩とし、「自分の安全は自分で守る」ことを呼びかけました。フリートークでは、防災気象情報の重要性が議論され、参加者から「台風影響が小さいのは気候変動の影響か?」などの質問も寄せられました。

アンケートでは、学生は「テーマ・内容」、教員は「出演者」が参加のきっかけで、「内容がわかりやすい」「満足した」「意識が変わった」との声が多数。感想には「専門的で面白い」「笑いを交えわかりやすかった」などがありました。地元紙も「専門家と市民で防災意識向上」や「変化に適応し生き抜こう」と報じました。



講演と休憩時間の話し手の様子

休憩時間には談笑が広がり、高校生の輝く目が印象的でした。専門家の経験を通じて「気候変動時代を生き抜く防災情報の重要性」と「気象科学の楽しさ」を次世代に伝える貴重な機会となりました。最後に、協力いただいた宮古高等学校と関係者に深く感謝申し上げます。(理事 萱場)

離島お天気教室

令和8年2月7日、与那国島において離島お天気教室を開催しました。今年度は、「旧与那国島測候所見学ツアー」を併せて実施しています。

当日は、旧測候所を利用している沖縄地区税関および第十一管区海上保安本部の協力を得て、各機関の業務紹介展示を行ったほか、地震・津波の仕組みを学ぶ実験（大波サーン）、前線の成り立ちを体感できる実験、屋外観測施設の見学、気象庁キャラクター「はれるん」および税関キャラクター「カスタム君」との交流など、多角的な気象・防災啓発活動を行いました。なお、土曜日開催としたことで、中学生や一般住民を含む幅広い層の参加があり、最終的に約100名の来場がありました。



事務局からお知らせ

■「沖縄支部だより」の原稿募集

事務局では「沖縄支部だより」に掲載する会員からの原稿を募集しています。

沖縄支部会員の活動報告、気象知識の普及活動の状況、沖縄の気象に関する事例解析・統計調査など情報交換に役立つ内容であれば十分です。

■住所変更届のお願い

転居や転勤により登録情報に変更が生じた際は、次の方法で手続きを行ってください。

【方法】気象学会本部ページの「入会案内」ページで「[会員登録情報の変更](#)」画面に入り、必要事項を記入の上、送信することで手続きは完了します。ご不明な点は事務局までお尋ねください。

■メールアドレス登録のお願い

会員への支部だよりの送付や各種連絡等はメールで行います。まだ登録されていない会員は、早めに登録いただくようお願いします。

登録は、住所変更届と同様に、「[会員登録情報の変更](#)」からのオンライン申請となります。

■日本気象学会への入会案内

みなさまの周りに気象学を専攻している、気象関連の仕事をしている、気象に興味を持っているような方がいましたら、日本気象学会への入会をお勧めいただくようお願いします。事務局までご連絡いただければ、入会方法をご案内します。